

# 令和5（2023）年度事業報告

## I. 一般会務

### 1. 協会の構成（令和6年3月31日現在）

顧問	3名
理事	15名
監事	2名
評議員	10名
事務職員	25名

（常勤嘱託11名、非常勤嘱託3名、アルバイト3名含む）

## 2. 会議

### （1）理事会

#### 1) 令和5（2023）年度第1回理事会

議案：第1号 令和4年度事業報告及び決算承認の件  
第2号 令和5年度事業計画及び収支予算一部変更承認の件  
第3号 令和5年度第1回評議員会招集の件

議決：原案通り承認可決された。

（令和5年6月13日 対面とZoomのハイブリッド会議による）

#### 2) 令和5年度第2回理事会

議案：第1号 代表理事及び業務執行理事選定の件

議決：原案通り承認可決された。

（令和5年7月27日 書面または電磁的記録による）

#### 3) 令和5年度第3回理事会

議案：第1号 代表理事（会長）の選定について

議決：原案通り承認可決された。

（令和5年9月22日 書面または電磁的記録による）

#### 3) 令和5年度第4回理事会

議題：第63回海外日系人大会について（振り返り）

（令和5年11月15日 Zoomオンライン会議による）

#### 4) 令和5年度第5回理事会

議案：第1号 令和6年度事業計画及び収支予算（案）承認の件

第2号 令和5年度第3回評議員会招集の件  
議 決：原案通り承認可決された。  
(令和6年3月13日 Zoom オンライン会議による)

(2) 評議員会

1) 令和5年度第1回評議員会

議 案：第1号 令和4年度事業報告及び決算承認の件  
第2号 令和5年度事業計画及び収支予算一部変更承認の件  
第3号 理事・監事再任の件  
議 決：原案通り承認可決された。  
(令和5年6月29日 対面と Zoom のハイブリッド会議による)

2) 令和5年度第2回評議員会

議 案：第1号 理事(代表理事)の辞任・理事の選任について  
議 決：原案通り承認可決された。  
(令和5年9月11日 書面または電磁的記録による)

2) 令和5年度第3回評議員会

議 案：第1号 令和6年度事業計画及び収支予算(案)承認の件  
議 決：原案通り承認可決された。  
(令和6年3月28日 Zoom オンライン会議による)

(3) 業務執行理事会

1) 令和5年度第1回業務執行理事会

開催日時：令和5年6月6日

会 場：横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜4階 セミナールーム10

議 題：

- 1 令和5年度第1回理事会について
- 2 第63回海外日系人大会について
- 3 国際日系デー行事について
- 4 理事・監事の再任について

2) 令和5年度第2回業務執行理事会

議 題：

- 1 令和5年度第5回理事会について
- 2 第64回海外日系人大会について
- 3 国際日系デー行事について

(令和6年3月6日 Zoom オンライン会議による)

## II. 事業の実施

### 1. 海外日系人大会開催事業

本事業は、年1回、海外在住の日系人が本邦で一堂に会し、相互の親睦を深め、日系社会の課題や日系社会間あるいは日系社会と日本との協力の方途について考えることを目的としている。

令和5年度においては、10月16日（月）・17日（火）・18日（水）の3日間、東京（JICA市ヶ谷ほか）において、対面式（ハイブリッド）で、「飛躍するニッケイ社会へー期待される新時代のイニシアティブ」をテーマに開催した。これまでの参加資格は日系人のみであったところ、新時代のニッケイ社会を反映し、日系人・日系社会に大きな関心を有し、日系団体の会員となって日系社会の活動に積極的に参加している非日系の方の参加を歓迎する旨を正式に表明した。

1日目は、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席のもと、開会式を開催した。まず海外日系人協会村井嘉浩会長が主催者挨拶を述べた後、秋篠宮皇嗣殿下よりおことばを賜った。岸田内閣総理大臣の祝辞（森屋宏内閣官房副長官代読）、海外日系人代表ペルー日系人協会ファン・カルロス・ナカソネ会長からの挨拶の後、海外ニッケイ社会からのビデオメッセージを上映した。記念式典後には、（独）国際協力機構（JICA）理事長田中明彦氏による基調講演を行った。その後特別講演として、ブラジル日本文化福祉協会石川レナト会長による講演、日本財団・次世代日系人との連携可能性検討事業検討会メンバーによる報告を実施した。夕刻からは、外務省飯倉公館で外務大臣主催の海外日系人歓迎レセプションが開催された。

2日目の国際シンポジウムでは、「期待される新時代のイニシアティブニッケイ社会の新たな挑戦」、「共生社会実現に向けての努力と貢献」、「コラボレーションの促進」と題したパネルディスカッションを行った。討議の結果は大会宣言として採択された。同日夕刻からは、海外日系人協会主催の歓迎レセプションを海運クラブにて開催した。翌3日目には、日系人の主張、在日日系人スピーチの後、大会宣言を発表した。その後海運クラブにて衆参両議院議長主催歓迎昼食会が行われた。

開催日：令和5年10月16日～18日（3日間）

開催場所：JICA市ヶ谷ビル（Zoomウェビナーによるハイブリッド方式）

総合テーマ：飛躍するニッケイ社会へー期待される新時代のイニシアティブ

参加者数：17カ国181名（対面参加者）

オンライン参加者333名

### 2. 内外日系社会広報事業

（1）「ニッケイ・ネットワーク（海外日系人協会だより）」紙発行

当協会の実施事業、移住者・日系人・日系社会にまつわる国内外の情報、

日系人相談センター相談事例等を発信するものである。

令和5年度においては、年4回（57号～60号）、各号2,000部を発行し国内の関係各所へ配布。海外へは電子版を配信したほか、広くWEBサイトやSNSでも紹介した。誌面には、6月20日の「国際日系デー」を記念して実施したオンライン・クイズショーや、コロナ禍以来4年ぶりで対面開催（オンライン配信を取り入れたハイブリッド開催）した第63回海外日系人大会の実施報告、「令和5年度在日日系人のための生活相談員セミナー」実施報告のほか、各種研修コースや、世界各地で活躍する日系人等の紹介、日系人・日系社会にまつわる国内外のトピックを幅広く掲載した。

## （2）協会WEBサイト運営

当協会WEBサイトについては、適宜改善やメンテナンスを行いつつ、より利便性の高いサイトとなるための検討を継続したほか、引き続きSNSを通じた訴求力のある情報発信を心がけた。

## （3）国際日系デー行事

6月20日の国際日系デー、6月18日の移住の日になみ、JICA横浜の後援を得て、日系社会の重要性の周知を目的としたオンライン・クイズショー「クイズ! NIKKEI around the WORLD」をライブ配信した。

日系社会にまつわるあれこれをクイズとしてオンライン上で事前に出題し、回答を募ったうえで、イベント当日のクイズショーでは、現役の日系留学生2名を進行役に、クイズの解答発表と解説を行った。全問正解者は「日系社会物知り博士」として表彰し、表彰状（電子）を贈呈した。ペルーとフィリピンからは、動画による出題と解説をいただいたほか、各地の日系社会より画像や情報を寄せていただき、多くの人に楽しんでいただけるイベントとなった。

クイズショーの様子は、当協会YouTubeチャンネルで公開している。

## （4）日系人に関する教科書記述内容調査

日本国民に日系社会の重要性を周知してもらうためには、日本の教科書の中で移住、日系人、日系社会について質的・量的に十分な記述が行われることが極めて重要であるとの考えから、令和3年度に教科書記述内容調査を実施した。

令和5年度は、令和4年度に行った沖縄県内の副読本調査の結果、「移民」「移住」に関するトピックを扱っていることがわかった金武町教育委員会より、同委員会発行の3・4年生社会科副読本『わたしたちの金武町』の他、同教育委員会が副読本で扱われている内容を絵本として発行したものなどを入手した。

#### **(5) 海外日系新聞放送協会支援**

本業務は、海外に所在する日系新聞20社により組織され、当協会に事務局を置く「一般社団法人海外日系新聞放送協会」が開催する年次総会および主催事業を支援するものである。

令和5年度は、10月にハイブリッドで開催された第50回年次大会（参加者は7カ国13名）を支援した。さらに、首相が海外の首脳と会談した際の政府広報及び政党広告に関わった。

### **3. 在日日系人対応事業**

#### **(1) 日系人相談センター**

本業務は、海外日系人協会内に設置されている「日系人相談センター」の常設電話窓口において、日系人からの生活相談等に対し、対処方法の指導、知識・情報の提供、関係機関・団体の紹介・取り次ぎ等を日本語、スペイン語、ポルトガル語により実施するものである。更に、機関紙「ニッケイ・ネットワーク（海外日系人協会だより）」の中で、実際の相談事例とその対応について紹介し、日系人の生活や就労等に係る情報を提供している。

令和5年度においては、就労ビザ、年金、労災、家庭の問題や、4世ビザ、留学等に関する相談（計183名、261件）に対応した。

#### **(2) 在日日系人のための生活相談員セミナー**

各地方自治体や地域の国際交流協会等においては、日系人に係る種々の問題に対処すべく、相談窓口が設置され相談業務が実施されている。本業務は、当協会が設置している日系人相談センターの業務を軸として、地方自治体等の相談担当者間の連携強化や、情報・知識の共有を図り、相談対応業務の円滑化を図ることを目的としている。

令和5年度は、JICA 横浜の設備改修工事により実施会場として借用しているセミナールームが使用不可となり、対面開催は行わず、Zoom ウェビナーによるオンライン開催とした。

開催日： 令和6年3月15日（金）

開催形態： Zoom ウェビナーによるオンライン開催

テーマ：「派遣等不安定な雇用形態からの脱却」

参加人数： 106名

### **4. 日系社会との連携強化事業 日系社会視察の旅**

本事業は、主として、ブラジル、アルゼンチン等の海外日系社会の視察を通じ、移住者・日系人支援事業に対する理解を深めるとともに、移住者・日系人との交流を促進することを目的として実施してきた。

令和5年度は、世界的な状況および参加ニーズを見つつ、実施の可否につ

いて検討した結果、実施を見送った。

## 5. 継承日本語教育事業

本事業は、日系社会において親から子へと世代とともに継承されていくべき日本語教育の普及を目的として、当協会内に設置した「継承日本語教育センター」を運営するものである。

令和5年度においては、そのノウハウを日系継承教育（教師育成Ⅰ）・日本文化活動コーディネーター育成コース等、当協会が実施するJICA日系社会研修及び日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）等に活用した。

また、JICAの許諾を得て2019年度より当協会ホームページ内で公開している「にほんごドレミ」「にほんごジャンプ」「にほんごチャレンジ」（本冊及び教師用マニュアル等）は、海外の日本語学校がオンライン授業を実施するにあたり有効に活用された。その他、教育手法や既存教材を広報するためのSNSを活用した情報発信等、今後の事業展開に向けた検討会議を行った。

## 6. ブラジル移住者里帰り訪日使節団事業

本事業は、日本ブラジル2国間における相互理解と友好親善の促進に寄与することを目的として、ブラジル移住の先駆者をその子孫も含めて招へいするものである。竹内政司氏による指定寄付金を財源とするブラジル日本文化福祉協会との共同事業であり、当協会は、招へい者の来日および日本滞在の手配、来日中のプログラムの企画実施を担当している。

令和5年度は、4年ぶりに海外日系人大会が対面開催されることに伴い、3名を招へいした。招へい者は、竹内氏のご意向により来日前にハワイを訪問し、ハワイの日本人移民の歴史やレガシーに関する史跡・施設等を視察したほか、ハワイ日系人連合協会の幹部メンバーらと交流した。その後、東京では第63回海外日系人大会に参加し、パネルディスカッションおよび「日系人の主張」（5分間スピーチ）にそれぞれ登壇したほか、各国参加者並びに当協会スタッフ等との交流を深めた。

## 7. 日本財団日系スカラシップ事業（日本財団）

日本財団は、居住国と日本との間の理解促進や居住国・地域社会の発展に貢献するための具体的な計画や夢を持つ若い日系人に対し、その実現のため日本留学の機会を与える事業を実施している。

本事業は、当該事業の留学生の募集・選考・受入準備・奨学金の支給等の業務を実施するものである。

令和5年度においては、5カ国33名の留学生に対する業務を実施した。

## 8. 日系社会研修員研修事業（JICA）

本事業は、JICA日系社会研修員受入事業の受託であり、日系社会において人材の育成が求められている分野について、その研修の実施を協会が提案し、JICAの承認を受けて実施するものである。

令和5年度においては、以下のとおり来日研修を実施した。なお、資格要件を満たす研修員応募者が不足したコース及び実施が困難と判断されたコースについては、実施に至らなかった。

コース	研修コース	人数	研修期間	研修内容
集団	和菓子を通じた日系社会活性化	6	1.5ヶ月	和菓子に関する知識を深め、より質の高い和菓子の製造技術を習得し、日系社会活性化に役立てるための研修
	キューバ日系社会活性化	6	1ヶ月	キューバ共和国の日系団体強化に必要な知識の習得
	日本文化活動コーディネーター育成(基礎)	6	1.5ヶ月	日本文化活動事業に関する基礎的な企画実施方法を習得する研修
	持続可能な日系団体運営管理	7	1.5ヶ月	団体運営手法に関する知識やコミュニティビジネス、種々の事業に関する講義及び活動現場の視察
	日系継承教育(教師育成I)	6	5ヶ月	初級前半の日本語及び日本文化活動指導研修
	食を通じた日系団体婦人部活性化	7	1.5ヶ月	食を通じた地域活性化のための婦人部活動に関する知識の習得
小計		38		
個別	日系団体若手リーダー育成	4	1ヶ月	ドミニカ共和国の日系団体において次世代を担う人材の育成を目的とした研修
合計		42		

## 9. 日系社会研修導入・実施支援事業（JICA）

### （1）日系社会研修実施支援業務

本業務では、JICAが受入れる日系社会研修員の選考および来日のための必要資料の作成、また、来日後の日本国内における研修や生活の円滑化を図るためのオリエンテーション等を行う。

#### ① ブリーフィング・オリエンテーション業務

令和5年度は全日系社会研修員142名を対象に、3日間のブリーフィング・オリエンテーション業務を実施し、生活諸手当、防災、日系社会研修員の生活全般についての説明等を行った。

#### ② 受入支援業務

令和5年度においては、287件の応募書類受付を行った。

## (2) 日本語研修実施業務

本業務は、日系社会研修員のうち日本語能力の不十分な者に対し、技術研修開始前に研修効果をより高めることを目的とした日本語理解力アップ重視の研修を実施するものである。

令和5年度は、日系社会研修員の来日が再開され、計110名に日本語研修を実施した。

## (3) 日系サポーター向けの業務

本業務は、日本国内の日系人集住都市にある学校や自治体、NGOなどで研修員(日系サポーター)を受入れ、研修を実施するものである。

令和5年度は、各地で研修を行っている日系サポーターを対象に、研修の間或いは帰国前にオンラインによる報告会(計4回)を実施したほか、各地にある在日日系人支援団体間のネットワーク構築を図った。

## 10. 日系社会次世代育成研修事業 (JICA・中学生招へいプログラム)

本事業は、北中南米諸国において日本語を学んでいる12才から15才の生徒のうち、成績優秀な者を24日間、日本に招へいし、日本語学習への意欲の向上、日本理解の促進、ひいては現地日本語教育の振興、人材育成に寄与することを目的とし、中学校への体験入学及びホームステイ並びに見学研修を実施するものである。

新型コロナウイルスの流行に伴い訪日研修が実施不可となったことから、令和2年度よりオンラインによる移住学習を導入しているが、令和3年度からは、オンライン移住学習に加え本邦研修で実施するプログラムの一部をオンライン上で疑似体験する「オンライン日本体験プログラム」も実施している。

令和5年度においては、下記の通り2回の研修を実施した。なお、2020年度～2022年度に新型コロナウイルス感染拡大により来日研修が中止され、多くの子弟の来日機会が失われたことから、令和5年度は少しでも多くの子弟の来日が可能となるよう特別枠の追加募集を行い、高校生年齢にあたる8名が特別枠にて参加した。

第1陣 令和5年6月17日～7月10日

対象地域：北中米地域 5カ国 研修生徒数：21名

第2陣 令和6年1月9日～2月1日

対象地域：南米地域 5カ国 研修生徒数：36名

## 11. 日系社会海外協力隊支援事業 (JICA)

JICAは、移住者・日系人社会を通じた技術協力事業並びに移住者・



日系人社会支援事業の一環として、中南米の日系社会の一層の発展を図ることにより、その社会の属する地域や国の発展を図ることを目的に、日系社会の要望に応じ、優秀な技術と奉仕の精神に富んだ日本の青年及びシニアのボランティアを2年間派遣する日系社会海外協力隊派遣事業を実施している。

本事業は、日系社会で活動予定の海外協力隊を対象に、派遣前に課題別派遣前訓練「日系社会講座」（旧称：日系社会技術補完研修）を実施するものである。

令和5年度は、以下の通り5回実施した。

4月9日～11日（対象：令和4年度4次隊7名・日系社会講座）

6月22日～24日（対象：令和5年度1次隊2名・日系日本語教授法）

6月26日～28日（対象：令和5年度1次隊9名・日系社会講座）

9月27日～29日（対象：令和5年度2次隊8名・日系社会講座）

12月18日～20日（対象：令和5年度3次隊16名・日系社会講座）

## 12. 移住者・日系人支援にかかる運営管理業務（JICA）

### （1）移住者の団体に対する助成金交付の実施促進業務

JICAは、中南米の日系団体が自主的に行う医療衛生対策、教育文化対策、施設等整備の事業に対して、助成金の交付による援助指導事業を行っている。本業務は、当該助成金交付に係る、実施計画の作成と精算の事務手続に関する業務を実施するものである。

令和5年度においては、11案件に対し助成金の交付が実施された。

### （2）日系社会リーダー育成業務

JICAは、将来の日系社会のリーダーや日本と居住国との架け橋となり得る人材を育成することを目的に、我が国の大学院に留学する日系人に対し滞在費・学費等の手当を支給している。本業務は、支給対象者の募集・選考・受入準備・手当の支給等の業務を実施するものである。

令和5年度においては、6カ国34名の留学生に対し業務を実施した。

## 13. 日系人就労環境改善事業（厚生労働省）

本事業は、ブラジル等に居住する日系人が我が国において就労するにあたり、来日前に正しい情報を提供することにより、我が国における適正な就労経路の確保及び適正に就労できる環境の整備を目的に、厚生労働省からの委託を受け、ブラジル国サンパウロ市に所在する（社）国外就労者情報援護センター（CIATE）に対する支援を中心とした業務を実施するものである。

令和5年度においては、オンラインも活用しつつ下記の業務を実施した。

- 1) 来日前における日系人に対する情報の提供の実施
- 2) 現地相談窓口での日系人の就労経路の適正化に関する業務の実施
- 3) その他、日系人の就労環境改善に関する業務

#### 14. 海外移住資料館管理運営事業（JICA）

JICA横浜センターは、我が国の海外移住の歴史及び移住者・日系人の現状に関する情報提供を目的として、センター内に海外移住資料館を設置している。本事業は、当該資料館の管理運営にあたり、常設展示室・収蔵庫の保守、収集・収蔵資料にかかる学芸業務、企画展示・公開講座・その他イベント等関連業務、資料館案内、情報展示システム・情報検索システムの運用、閲覧室業務などを実施するものである。

当協会は、今年度より新たに5年間の特命随意契約を結んでいる研究・学芸部門、および今年度落札した展示・イベント部門について受託し、当該資料館に係る全ての業務を実施した。

令和5年度の年間入館者数は28,472人であった。

#### 15. 海外出張

- (1) 日本財団日系スカラシップ面接選考（日本財団助成事業関係）

出張者：日本財団日系スカラシップ事業担当職員

出張先：ペルー、ブラジル

期間：令和5年9月13日～9月23日

- (2) CIATE コラボドールレス研修セミナー参加（厚生労働省受託事業関係）

出張者：代表理事、評議員、参事

出張先：ブラジル

期間：令和5年11月29日～12月7日

以上